

様式1 平成25年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	海津市	学校名	海津市立石津小学校			
校長名	中野 昇	対象学年	3年生	人数	62名	
活動名	みかん博士になろう		時間数	50時間	継続年数	21年
題材	① 自然環境（山野） [地形・気候について] ② 歴史（その他） [みかん作り発祥] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [] ④ 地場産業（農業） [みかん栽培] ⑤ 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 [] ⑥ その他（ ） []					
複数年継続するための工夫改善	○1年かけて育ててきたみかんを収穫するだけでなく、全校児童や来校者、学年の学習でお世話になった方々等、地域の方にも自分たちで手渡す機会を位置づけ、収穫する喜びとともに感謝したりされたりする喜びを味わう場を設定した。 ○授業ごとの振り返りだけでなく、昨年は学習のまとめを、班新聞として掲示物にまとめていたが、今年度は、個人新聞を作成し、一人一人の学びを自分の課題に沿ってまとめる場を設定する。					
<p>1 ねらい</p> <p>◎地域の産業であるみかんの栽培について、地元農家の協力を得ながら、調べたり栽培したりする活動を通して、石津地区にみかん栽培を広げた先人の苦勞を知り、地域の産業や自然環境のすばらしさに気付き、地域に愛着と誇りをもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みかんの栽培について不思議に思ったことをもとに学習課題を作り、自分に合った調べ方、まとめ方を選択し、相手に伝えることを意識して発表することができる。 ・友達や地域の人と協力して、自分の課題を追求していこうとする意欲をもつことができる。 <p>2 活動の概要</p> <p>(1) 南濃のみかん作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みかん作りの歴史や規模などについて知る。 <p>(2) みかんの秘密</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みかんについて調べたいこと」を考え課題をもつ。 <p>[課題解決の方法]</p> <p>① 外部講師宇佐美さんに話を聞く</p> <p>② みかん畑を見学する</p> <p>③ 本やインターネットで調べる</p> <p>④ 家族や地域の方や4年生から聞き取りを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで課題解決の方法を組み合わせ、調べたことを新聞にまとめて発表する。 <p>(3) みかんの世話をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師宇佐美さんに教わって世話をし、収穫できるまでには様々な世話をする必要があることを知るとともに、実際に作業することで、その苦勞を体感する。 <p>①下草取り ②肥料まき ③下草取り ④摘果 ⑤収穫</p> <p>(4) 収穫したみかんのゆくえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達が収穫したみかんを全校の児童や、隣の学校、一人暮らしのお年寄り（6年生の活動）、交流学校（飛騨 河合小・宮川小 4年生の活動）、お世話になっている学校医、社会科の学習でお世話になる方々（消防署）来校者（人権劇・学校評議員等）などにお届けする。また、地域のみかんがどのように市場に出回るか、選果場を見学し、話を聞く。 <p>(5) みかんパーティーを開こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みかんの秘密」でみかんの利用について調べたことをもとに、多くの保護者ボランティアの協力を得て、みかんを利用した調理を行いみかんの収穫に感謝する。 <p>(6) 学習のまとめをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の足跡を、自分の課題に沿って個人新聞の形でまとめ、学習の成果を発表しあう。 <p>(7) 「ありがとうの会」「新3年生よろしくの会」を開こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お世話になった講師 宇佐美さんや保護者を招待し、一年間の学習を発表し、地域の産業と環境について振り返る。また、新3年生に地域の産業を伝えていく。 						

3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

- ・みかん農家 宇佐美 傳さんを外部講師に招き、20年以上継続し、みかん栽培の歴史や作業について、年に数回に分けて学習会を開いている。
- ・農協に協力を得て、選果場の見学を行っている。
- ・地域でお世話になっている方や、学習でお世話になる方、来校者（人権擁護委員・学校評議員など）にみかんを配って喜んでもらっている。
- ・隣接する幼稚園・保育園・小学校・中学校に、みかんを届けている。また、隣接小学校とは収穫物を交換し合っている。（みかんを届け、柿をいただく）
- ・地域の一人暮らしのお年寄りに、毎年訪問してみかんを配っている。（6年生）

4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）

- ・南濃町石津地区に東向きの斜面を利用した産業としてみかん栽培を始め、この土地に合うまで試行錯誤を重ねて今に至っている先人の努力について知り、地元産業であるみかん栽培について改めて見直すことができた。
- ・みかん栽培には、多くの手間がかかっていることを知り、地域で栽培されるみかんを大切にしたいという思いが高まった。
- ・収穫し、味わってそのおいしさを体感することで、「南濃みかんです。おいしいでしょ。」と手渡す人々に声をかけ、地域産業の1つであるみかん栽培について、誇りと愛着を感じる事ができた。
- ・みかんを多くの人に手渡しして喜んでもらうことを通して、収穫する喜びだけでなく、自分たちの作った作物で人に喜んでもらうという役立つ喜びを感じる事ができた。
- ・みかん収穫では、コンテナ80箱分を収穫し、自然の豊かさと世話の仕方を教えていただいた宇佐美さんに感謝の気持ちを強くもつことができた。
- ・調べ学習や作業毎に行う学習のまとめを通して、みかん作りの大変さとすばらしさを深く理解することができた。

